

青少年赤十字 SHIMANE



第 113 号 令和 5 年 3 月 31 日

島根県青少年赤十字指導者協議会
日本赤十字社 島根県支部

青少年赤十字創設 100 周年記念

青少年赤十字は、第 1 次世界大戦時に欧米などで子どもたちが赤十字を通じて奉仕活動を行ったことがきっかけとなり誕生しました。日本の青少年赤十字は 1922 年に滋賀県で誕生し、赤十字のやさしさや思いやりの心を持った子どもの育成を目的に活動し続け、2022 年 5 月 5 日に創設 100 周年を迎えました。

これに伴い、「未来のあなたへ、やさしさを。」をテーマに全国で創設 100 周年にまつわる活動をつなぐ・つづける・つくるを切り口に展開しました。このテーマの「未来」とは 1 秒後から 10 年後の遠い日までを示し、「あなた」とは「他人」や「自分」と幅広く意味しています。

島根県での活動として「記念のぼり・バナーを掲げての行事開催」「青少年赤十字創設 100 周年記念国際交流事業に指導スタッフの派遣」「記念品配布」「創設 100 周年記念旗への寄せ書き」等様々な活動を行いました。また、青少年赤十字加盟校の奥出雲町立高尾小学校との協同事業として「青少年赤十字創設 100 周年記念 高尾小学校にこここ寄席 10 周年記念寄席」を行いました。



「気づき、考え、実行する」 次の100年へ

青少年赤十字スタディー・プログラムを開催！！

例年、山梨県の東照館において4泊5日で開催されております青少年赤十字スタディー・センターですが、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、第一部をオンラインにて令和5年3月21日（火）、第二部を日本赤十字社本社にて3月25日（土）と2日間のスタディー・プログラムとして開催されました。島根県からは松江南高校から1名のメンバーと1名の指導者、三刀屋高校から1名のメンバーと1名の指導者の参加がありました。

今回のスタディー・プログラムのテーマは「誰一人取り残さない 多様性を尊重した共生社会」となっており、無数の選択肢と多様な価値観にあふれているこの社会を、自分らしく生きていくためには、どういう人間であればいいのか？赤十字の一員としてどう生きていけばいいのか？ということを考える内容になっていました。

第1部

第1部は、オンラインでの開催のため日赤島根県支部から参加しました。スタディー・プログラムについて話を聞き、目的を確認して意識を高めることから始まりました。その後ホームルームに分かれて自己紹介や質問、アイスブレイクではカメラをオフにして自分がしているポーズを口頭で伝えるゲームを行いました。島根県では「誰一人取り残さない 多様性を尊重した共生社会」について「目に見えることが要因となっている（障がい、高齢者・子ども・ヘルプマーク等）」ことを考えて、解決のために何ができるのか活動計画を立てました。2人で真剣に話し合って第2部で発表するための資料作りに取り組みました。



第2部

第2部では、第1部で作成した内容の発表を行いました。オンラインで話していたメンバーと会場で様々な意見を交換し、反映していきました。そしてより完成度を高めてホームルームとは別のメンバーで発表会を行いました。今回の2日間は自らの考えを発言し、意見交換をする機会が多々ありました。島根県から参加したメンバーも積極的に発言するなど非常に充実した2日間となったことかと思います。そしてなにより、全国の青少年赤十字メンバーとの交流が、2人のこれからの良い影響を与えたかと思えます。



令和4年度 島根県青少年赤十字指導者講習会を開催しました

令和5年2月9日(木)に令和4年度島根県青少年赤十字指導者講習会を開催し、38名の方に参加していただきました。4年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、Web形式にて実施いたしました。当日実施した内容は下記のとおりです。



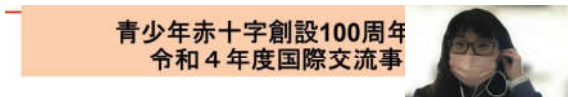
合言葉『気づき・考え・実行する』で生きる力を身につけていく生徒たちの追跡調査Vol.2
三刀屋高等学校 片岡初美

○基礎理論：「赤十字と青少年赤十字」
島根県支部事業推進課
主事 立脇 晋平

○事例発表：『「気づき・考え・実行する」で生きる力を身につけていく生徒たちの追跡調査 Vol.2』
島根県立三刀屋高等学校
教諭 片岡 初美



○事例発表：「リーダーシップを育てる
～トレセンの取り組み～」
美郷町立邑智中学校
教諭 松浦 瑞穂



○報告：「青少年赤十字創設100周年記念 令和4年度国際交流事業」
島根県立隠岐島前高等学校
教諭 竹田 育子

(2)参加者の内訳

第1部

○日本

- ★各都道府県の青少年赤十字メンバー 114名
- ★赤十字語学奉仕団 25名
- ★指導スタッフ9名
- ★日本赤十字社本社(事務局)9名

○海外

- ★各国赤十字・赤新月社の青少年メンバー 122名

合計 279名

○演習：「青少年赤十字防災教育プログラム まもるいのち ひろめるぼうさい」
島根県支部事業推進課
主事 立脇 晋平

感染症対策を取りながら出前授業実施中

日本赤十字社島根県支部では、マスクの着用、手指消毒、室内の換気、人と人との間隔を取るなどの感染症対策を取りながら出前授業を実施しております。詳細につきましては島根県支部までお気軽にお問い合わせください。



各加盟校の活動状況



一の谷保育園：食育活動



志学小学校：宿泊学習（清掃・野外活動等）



長久小学校：障がい体験学習



川合小学校：お年寄りとの交流



海潮中学校：防災学習



西ノ島中学校：海岸清掃

◎令和5年度島根県支部の主な事業について（この他に本社主催事業などもあります）

- ・島根県青少年赤十字メンバーリーダーシップトレーニングセンター

①県トレセン（小・中・高校生合同開催） 期 日 8月6日(土)～8日(月)

会 場 島根県立青少年の家 サン・レイク（出雲市小境町） 参加費 1,000円(1人当たり)

※6月中旬ごろに、学校あて案内文書を送付予定です。多数のご参加お待ちしております！！

②隠岐トレセン（隠岐地区の小・中学生対象）

期 日 12月2日(土) 会 場 隠岐の島町立西郷中学校（隠岐の島町栄町488）

③益田トレセン（益田地区の小・中学生対象）

期 日 2月3日(土) 会 場 益田市内

- ・島根県青少年赤十字指導者講習会 期 日 2月8日(木) 会 場 サンラポーむらくも

※各事業の詳細につきましては、随時、学校へご案内、及び当支部ホームページへ掲載いたします。

令和4年度加盟校登録状況（3月末日）

・幼稚園（保育園）55園	・小学校 102校
・中学校 60校	・高等学校 35校
・特別支援学校 10校	合計262校(園)

日赤島根県支部では、募金箱や赤十字活動の紹介パネル等の貸し出しを行っております。

募金活動や、学習発表会、学園祭等でもご活用いただけますので是非ご利用ください。

※詳細は島根県支部までお問い合わせください。